



公務員ベア人事院勧告の凍結を弾劾する!

9月24日閣議で決定

日刊 勤労千葉

82.9.27

No. 1155

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九・(公衆電話)22七二〇七

10・11三里塚総決起を突破口に、激化する臨調 「行革、国鉄攻撃に総反撃していこう!」

政府は、九月二十日の給与関係閣僚会議における「人事院勧告凍結」の決定を受け、二四日の閣議において正式に人事院勧告を凍結することを決定した。

政府・自民党支配階級は、「行財政再建」の名の下に公務員労働者を突破口に労働者人民に一切の矛盾を転嫁する重大な攻撃を開始した。

今や、国家財政は、破産状態にあり、政府・支配階級は、この未曾有の危機を突破する道を唯一、軍事大国化・憲法改悪・戦争への道に求め、これまでの支配のやり方を支配階級の側から破りすててきたのである。

われわれは、「本部」革マル反動分子の新たな三里塚・勤労千葉敵対を打ち破り、十・一一へ総決起し、激化する諸反動攻勢と対決しよう。

スト権ハク奪の「代償」

「人事院勧告制度」

そもそも「人事院勧告制度」は、われわれ公企体労働者への公労委「仲裁々定」制度と並んで公務員労働者のストライキ権剝奪攻撃の「代償」として設置されたものである。

支配階級は、戦後の労働者人民の「賃金引き上げ・生活防衛」をかかげたストライキ攻勢をなんとかかわし、支配体制を維持せんがためにアメリカ帝国主義・占領軍と一体となって「政令二〇一号」をもって、闘いの先頭に立っていた公務員・公企体労働者のストライキ権を一挙に剝奪したのである。

以降三十数年間、支配階級は、「人事院勧告制度」をよりどころにして、公務員労働者の闘い「ストライキを圧殺し、禁止し、戦後支配体制を貫徹してきたのである。

そして、この「人事院勧告制度」によって公務員・公企体労働者の賃金は、常に民間賃金よりも低く抑え込まれてきたのである。

「人事院勧告完全凍結」の

あとになにがくるか

政府・自民党のこの間の矢つぎ早やの反動攻撃をあげるとつぎのようである。

七月三十日 臨調基本答申

八月三十一日 来年度国家予算の概算要求

防衛費の七%突出

九月十六日 財政非常事態宣言

「二〇日 政府、国家公務員ベア凍結」「人事院勧告凍結」を給与関係閣僚会議で決定

「二三日 政府、閣議で「人事院勧告凍結」を

正式決定
併せて、「国鉄再建」をはじめとする「行政改革大綱」を決定

さらに、三里塚二期着工策動「成田用水」反対同盟解体攻撃の強まり、防衛白書における「シーレーン防衛」「外洋攻撃型軍隊への飛躍」をうたい自衛隊の本格的な帝国主義軍隊の形成が明らかにされ、また、教科書問題、改憲策動、さらには徹底した国鉄労働運動解体攻撃の激化等々、極めて反動的な攻撃が矢つぎ早やにかけられている。

未曾有の国家的危機に直面した政府・支配階級は、「いままでの支配のやり方」をなげすて「力による支配」をむきだしにした政策と一切の矛盾を労働者人民に転嫁することで危機を乗り切ろうとしているのだ。

「国民にも痛みをわかち、犠牲をとにもする」などと政府・支配階級自らがつくり出した財政危機「体制危機を」「人事院勧告完全凍結」を突破口として、地方公務員、政労協労働者の賃上げ凍結、公企体労働者への仲裁々定凍結、そして各種年金抑制さらに大増税等をもくろんでいるのである。

十・一一総決起を突破口に

反動攻勢と対決しよう

今や危機にひんする支配階級は、このように一切の矛盾を労働者人民に転嫁しつつ、一方ですべての反体制勢力を一掃するため三里塚闘争破壊「反対同盟解体、国鉄労働運動解体攻撃を強めている。

われわれは、「本部」革マル反動分子の敵対を粉碎し、十・一一三里塚現地へ総力決起し、支配階級の諸反動攻勢と対決し打ち破る突破口としようではないか。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!